



ひまわりぐみだより

2022年 3月 第5号

木々や花が芽吹き始め、暖かい春の日差しが感じられる頃となりました。戸外遊びが大好きな子ども達は、長縄跳びや三輪車、鬼ごっこなど、友達との関わりを楽しみにしながら元気一杯遊んでいます。

ひまわりぐみの生活も残すところあとわずかとなりました。保護者の皆様には、1年間様々なご協力を頂き、ありがとうございました。進級への期待を膨らませながら、1日1日を大切に過ごしていきたいと思えます。

進級に向けて、心配な事や不安な事などがありましたら遠慮なくお知らせください。



楽しかった凧あげ

昔から親しまれている正月遊びの1つ、凧作りを年明けに行いました。レジ袋にマジックペンで自由に描き、シールを貼り、完成させると「早く凧あげやりたい！」とワクワクしていた子ども達。翌日、園庭を走り袋がフワ〜ッと膨らむと「やった〜！すごい！」とみんなで大笑いしながら楽しむ姿にほっこりしました。2つ目は、螺旋を切ってクルクルと回る仕掛けの凧に挑戦しました。初めての螺旋切りでしたが、ハサミの上達振りに成長を感じました。「走らなくても回るよ！」と風になびかせクルクルと回る事を発見したり、「よーい、ドン！」とお友達と競争したり。自分で作ったもので遊ぶ楽しさを味わう事が出来、とても良い経験になりました。



氷できるかな？

冬の自然現象を利用して、皆で氷作りをしました。様々な形の製氷皿に水や溶き絵の具を入れ、一晩置き、翌朝見に行くことが日課に。「氷できてるよ！」「今日は失敗しちゃったね」「今度は固まるといいね」と、寒さで凍えるような朝も、子ども達にとってお楽しみの1つになっていたようです。手の平に氷を乗せて、「うわあ〜冷たい！」「ハートの氷可愛いね！」と完成を喜ぶ子ども達の表情がとても印象的でした。その他、季節の花、ビオラを水に浮かべて氷アートフラワーにも成功！様々な楽しみ方で、氷作りを経験する事ができ、冬の素敵な思い出ができました。



リズム遊び

リズムに合わせて体を動かす事で、音感を身に付け運動機能の発達を促し、集団で動く事により、協調性を高め集中力を身に付けていきます。また、様々な動作を行う事で表現力を身に付ける狙いがあります。始めた頃は、恥ずかしさやどう動いて良いのか分からない様子で、上手く表現できなかった子ども達でしたが、今では1つ1つの動きに自信を持ち、集団で体を動かす事の楽しさを感じられるようになってきました。1年間の継続が心と体を大きく成長させてくれたように思います。



行進



スキップ



スライディング



どんぐり



子馬



手足のコントロール

